

南京大学および浙江農林大学に招聘され基調講演を行いました（2021/10/23）

テーマ：東日本大震災、復興、災害リスクの軽減
場所：浙江農林大学（中国）およびオンライン

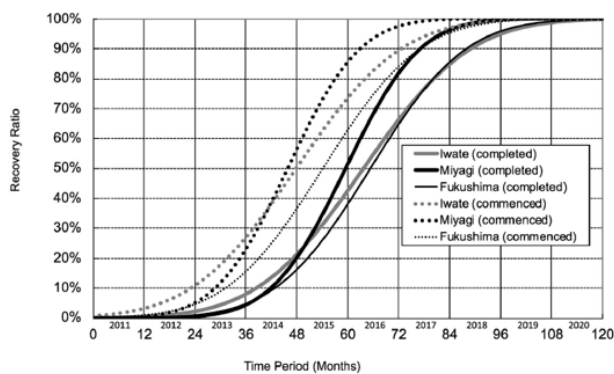
当研究所の村尾修教授（国際防災戦略研究分野）が、中国の南京大学と浙江農林大学が主催する国際会議「2021 Academic Annual Conference of Planning and Standards Committee of China Association for Disaster Prevention」において基調講演を行いました。

この会議は、土地・空間利用に基づく「回復力のある都市づくり」を主なテーマとし、10月22日から24日にかけて、ハイブリッド形式にて開催されました。

村尾教授は、「Recovery from the 2011 Great East Japan Earthquake and Next Stage in Disaster Risk Reduction」と題し、東日本大震災から10年半を迎え、これまでの復興過程や震災後に被災地で行われた復興戦略と共に、災害リスクの軽減における次ステージのあり方について講演しました。主な内容は、以下の通りです。

1. 東日本大震災・津波・復興
2. 震災復興調査と復興曲線
3. 現在の状況について

また現在、都市の管理体制、リスク防止策の強化といった事前復興が世界的な動向となっていることを受け、同会議では、都市計画、土地利用と開発、都市災害リスク評価とシミュレーション、防災基準制度等についての発表も行われ、レジリエントシティを目指した施策についての議論が繰り広げられました。



(a) Three prefectures



講演スライドより抜粋

文責：村尾修（国際防災戦略研究分野）